

令和8年2月3日

隠岐支庁農林水産局農業振興部

標 題	所得向上を目指す「子牛の育成向上と市場成績を活かす飼養管理」研修会を開催
-----	--------------------------------------

(ダイジェスト)

子牛の発育向上による所得向上を目的とした「子牛の育成向上と市場成績を活かす飼養管理」研修会を、1月23日(金)にリモート形式で隠岐4島を繋いで開催したところ、約50名の参加があり、子牛育成に対する関心の高さが明らかとなりました。今後も、繁殖農家の関心が高いテーマを中心に、経営改善に寄与する体系的な研修会を企画することとしています。

令和7年11月の隠岐家畜市場では、子牛の体高から発育状況を判定する「発育判定」(発育判定3を平均とし、1と2を平均未満、4と5を平均以上の発育とする)において、3と5の子牛の市場販売価格差が、去勢子牛で6万円、雌子牛で5万円という状況でした。この価格差は、同年7月市場と比較し、去勢子牛で1万円、雌子牛で3万円拡大しており、子牛の発育が子牛販売価格に大きな影響を与える結果となっています。そのため、子牛の発育向上を図ることが、所得向上を目指す繁殖農家の経営にとって非常に重要な要素となると考え、研修会を企画しました。

研修会では、繁殖農家のデータ利用意識向上と優良事例普及を図り、自家保留を含めた子牛の発育改善による子牛販売価格の向上に繋げることを目的とし、①隠岐家畜市場成績データを活用した子牛の飼養管理の改善、②普及部として一緒に子牛の発育改善に取り組み成果を挙げられた優良農家における取組事例の紹介を行いました。

リモート形式での研修会には、隠岐4島において、繁殖農家と関係機関を含め約50名の方にご参加いただきました。参加された方のアンケート結果より、満足度の高い評価をいただくとともに、今後、「子牛体測」・「離乳日数の延長」・「母牛の分娩前管理」・「スターター給与の改善」など、具体的な取り組みを実践したいという声もありました。このことから、本研修会が繁殖農家の子牛育成に対する行動変容にも繋がることが期待され、今後の子牛育成向上を図る上で必要な研修会であったと考えます。

しかしながら、アンケートや質疑応答を通じ、さらに現場に即したデータの紹介や経済性への影響の分析が必要であったと考えられるため、今後は、改善と内容の充実を図り、研修会をシリーズ化して実施することで、更なる隠岐産の肥育及び繁殖素牛の市場評価向上と産地基盤強化に繋げていきます。

